

展示シリーズ 20 アカネズミ

やまぐちよしひで
山口佳秀 (学芸員)

1月4日、仕事始め式を終え、展示室に向かいました。エントランスホールから1階を巡回し、3階神奈川展示室の「人と自然との関わり・水田から林へ」の展示ケース脇に見慣れないパネルがありました。近づいてみると「ご来館の皆様、明けましておめでとうございます。本年は私の干支、よろしくネ…」とネズミー同から来館者へ宛てた年賀状でした。

今年はネズミ年か。早いもので一回り前の平成8年12月20日から平成9年1月31日まで「ゆく年くる年展」と題して年の変わり目に当たり、平成8年の干支ネズミと平成9年の干支ウシを素材にして、博物館の1年の出来事を紹介した企画展を開催しました。その時、伊豆半島で捕獲したアカネズミ数個体をガラスの水槽で飼育展示しました。お客さんの前で可愛い仕草を見せ、好評だったことを思い出しました。そうか、今年は何もしないから、ここに展示されているアカネズミ君とカヤネズミ君が気を利かし、ネズミー一同で年賀状を書いたのかな？

それは失礼なことをしたね。すでに、展示シリーズ14（「自然科学のとびら」10巻4号）でカヤネズミ君は紹介を済ませているから、今度はアカネズミ君を紹介してあげましょう。

県内のネズミ

ネズミー同からの年賀状ですが、県内には君達の他に6種ものネズミが生息しています。体形はアカネズミ君によく似ていますが一回り小さく、尾が長いことが特徴のヒメネズミがいます。君も長い尾を巧みに使いながら木登りをし、小鳥用に



図1 大きな目をしたアカネズミ。

設置した巣箱をねぐらに利用することもあ
るみたいですが、ヒメネズミの方が君より
も木登りは上手らしいね。それから君た
ちとは明らかに体形が異なるハタネズミと
スミスネズミがいます。君の目は顔から飛
び出さんばかり大きいけれど（図1）、目
は小さく、耳介はピロウド状の体毛に隠
れてしまうほどです。また、尾の長さは
君の半分もありません。地中に掘られた
トンネルが生活の中心で、木登りや立ち
上がる事も少ないため、どちらかと言え
ば地中生活に適したモグラの体形に似
ています。

その他に、人間生活に密着した環境
で生息しているクマネズミ、ドブネズミと
ハツカネズミのいわゆる家ネズミと呼ばれ
ている3種がいます。

アカネズミの生息地

今、君は水田を放棄してから30年後、
ハンノキを中心として、オノエヤナギやイ
ヌコリヤナギなどの樹木が侵入し、湿原
から森林へと変わった環境に生きる代表
的な動物としてタヌキやヒミズと共に展示
されています。県内では相模川や酒匂
川河口の河川敷から丹沢山塊の最高峰、
蛭ヶ岳山頂まで分布し、丹沢山塊や渋
沢丘陵、箱根、大楠山等の雑木林には
ごく普通に生息しています。さすがに市
街地や住宅地には生息していませんが、
横浜市の舞岡公園、円海山、寺家ふる
さと村や大和市の泉の森、上和田野鳥
の森や座間市の谷戸山公園等の雑木
林でも捕獲したことがあります。このよ
うな市街地や住宅地に隣接する孤立林で
は、人の手が加わり過ぎて水環境に恵
まれなくなった場合、また、
開発などによって分断され7
ヘクタール以下の林地面積
では個体群を維持することは
無理のようです。

主食は種実

あの技にはビックリだね。相
模原市津久井町にあるこの
ま沢キャンプ場でのことです。
石の下に隠された多くのクル
ミの殻（図2）を発見しました。
見つけたクルミは隆起線の周



図2 貯食されたクルミ。



図3 クルミの食跡、まさに特技だね。

囲に穴があげられ、そこに果肉が最も多
く詰まっていることを知っているように上手
に食べられていました（図3）。まさに特
技ですね。「何々、一生伸び続ける門歯
を持ち、種実を主食にしている君達には
当然のことですか」恐れいりました。

神奈川レッドデータ度は健在種

以前、三浦半島の大楠山で3月に採
集したオスの個体は、尾の付け根付近
が大きく膨らみ、外見からも睾丸が発達
しているのが判りました。標本を作るため
に解剖をしたところ、大豆に似た形の辜
丸は縦15mm、横8mmもありました。ま
た、渋沢丘陵の雑木林で5月に捕獲し
た個体のお腹の中には、U字型をした
子宮に、右側に3個体、左側に3個体
の計6個体の胎児を確認しました。それ
から6月に捕獲したヤビツ峠の個体にも
右側3個体、左側2個体の計5個体の
胎児がいました。君達の繁殖期はこの
頃であり、普通は4～5頭の子供を出
産しているみたいですね。多くの子供を
沢山生んで子孫繁栄を願います。君達
にはキツネなどの食肉類からフクロウなど
猛禽類、アオダイショウなどの爬虫類ま
で多くの天敵が命を狙っているからね。

最近の報告によると、君たちの神奈川
レッドデータ度では健在種という評価で
すね。とりあえず一安心。このままの状
態が長く続くことを願っています。